

# 公民館だより **11**月号

## 秋の大イベント

# 生涯学習フェスティバル

## 秘めた才能を披露!!

11月2日(月)・3日(火・祝)の2日間、文化・芸術の祭典『生涯学習フェスティバル』を開催しました。

作品展示では、書道、絵画、陶芸など各教室やサークルの作品や、各種団体の工芸品、個人出展の手芸や写真などバラエティ豊かな作品が揃い、観覧に訪れた方は足を止め、素晴らしい作品に見入っていました。

3日に開催したステージ発表では、子どもからご年配の方々まで年齢を問わず多数出演され、日ごろの練習の成果を存分に発揮し、会場は大きな拍手に包まれ大いに盛り上がりました。

その他にも、婦人会と小学生児童による町民茶席や健康づくり、防災といった各種コーナーなど盛り沢山の内容で開催し、例年より多くの入場者が訪れ「文化・芸術の秋」にふさわしい2日間となりました。

## フォトアルバム



## 11月の公民館事業開催予定

- ガーデニング教室 7日(土)      ○パソコン教室 9日(月)～13日(金)・16日(月)
- 出雲崎ツズ 9日(月)      ○ちぎり絵教室 10日(火)・17日(火)
- ノーメディア・デー 10日(火)・20日(金)・30日(月)      ○めばえ教室 13日(金)
- 英会話教室 12日(木)・26日(木)      ○さわスポ教室 17日(火)
- 出雲崎総合大学 17日(火)・25日(水)      ○書道教室 19日(木)

## 五輪 銀メダリスト 中村真衣さん～未来の夢子ども体験講演会～

10月21日(水)、町民体育館において長岡市出身でシドニー五輪 100m背泳ぎの銀メダリストであり、同五輪 4×100mメドレーリレー銅メダリストの中村真衣さんを講師にお招きし、小・中学生を対象に「未来の夢子ども体験講演会」を開催しました。

中村さんは、現在スイミングアドバイザーとして大人や子供を対象とした水泳指導のほか、自らの経験談を交えた講演活動などを中心に全国で活動されています。今回は『どん底から這い上がれ～未来の夢は今日の自信から～』と題した講演と併せて、メダルタッチ、握手、サイン会も実施していただきました。

講演会では「自分に対する考え方や見方を変えると、自分自身の自信につながる」などの激励のメッセージをいただき、子どもたちは「これから何事にもチャレンジする元気が湧いてきた」と一様に勇気づけられていました。



## 秋晴れの中 盛大に開催～第25回奥の細道天の河俳句大会～

10月16日(金)、中央公民館において「第25回奥の細道天の河俳句大会」が開催されました。

毎年、県内外の俳句愛好者から募集しているこの大会ですが、今年も185名の方から925句の応募がありました。町内関係者の中では「席題の部」で、季語・季題「無花果」と「村」を読み込んだの2句提出があり、井鼻の細木郵子さんの作品が第3位に入選されました。

当日は約60名の俳句愛好者が集まり、大久保白村先生(日本伝統俳句協会副会長ほか)による「眼中のもの皆俳句」と題した講演が行われ、参加者は皆満足した表情を浮かべ、一日を俳句に親しんでいました。

○席題の部 第3位

十年目の村に赤子や柿日和 井鼻 細木 郵子

## 石澤進さん受賞 ～(一社)全国社会教育委員連合表彰～


(一社)全国社会教育連合表彰を石澤進さん(新潟市)が受賞されました。このたびの表彰は、平成10年4月から現在に至るまでの長きにわたり、町社会教育委員として社会教育の振興に御尽力され、その功績をたたえて表彰されました。表彰を受けた石澤さんは「感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを語っていました。



## 図書館だより(新刊案内)



### 中央公民館

 **Aではない君と** …薬丸 岳 著

吉永のもとに警察がやってきた。元妻が引き取った息子の翼が死体遺棄容疑で逮捕された。しかし翼は弁護士に何も話さない。吉永は保護者自らが弁護士に代わって話を聞ける制度があることを知る。吉永に、少年審判の日が迫る。

 **農家が教える 産地のイチおし旬レシピ**  
…農山漁村文化協会(編集)

ソラマメのコロッケにトマトの天ぷら。オカマジュースってなんだろう!?農家がつくる雑誌「現代農業」に寄せられた、全国の農家の自慢のレシピが大集合。農作業の合間にサッとつくれる。

### 町立図書館(海岸公民館)

 **朝が来る** …辻村 深月 著

「子どもを、返してほしいんです」親子三人で穏やかに暮らす栗原家に、ある朝かかってきた一本の電話。子を産めなかった者、子を手放さなければならなかった者、両者の葛藤と人生を丹念に描いた、感動長篇。

 **聖母** …秋吉 理香子 著

幼稚園児の遺体が発見された。事件のニュースを見た主婦・保奈美は、大切なひとり娘は無事だろうか、と不安に陥る。警察は懸命に捜査を続けるが、犯人は一向に捕まらない。娘を守るため、母がとった行動とは。

※この他の新着図書は、新着一覧を中央公民館・町立図書館(海岸公民館)それぞれに掲示しておりますのでご覧ください。



「ことば」の趣きを感じ取って

公民館長 佐藤 亨

「文化・芸術の秋」である。各地でそれに因んだ催しが行われている。文芸・文学面も盛んである。文芸・文学の基は「ことば」であるが、日本は、伝統文化や精神文化を大切にしているから、「ことば」にもきめ細やかな面がある。

例えば、「みる」でも漢字に当てはめてみると「見る・観る・診る・看る・視る」などと、使う用途や意味合いも多様である。同じ「見る」でももう少し具体的にみれば「見る・眺める・見つめる」もあり、もの見方の深みが異なる。日本の文化の感性が見てとれる。

日本の伝統文化である「俳句」はものの見方や作者の心のきびを「ことば」で五七五にまとめ上げる。先月、当町で「奥の細道天の河俳句大会」が開催された。参加者はいかに妙味（すぐれた趣き）を出すか持てる力を発揮すべく俳句と向き合った。

当日の講師・大久保白村氏（日本伝統俳句協会副会長。父は高浜虚子の弟子）は講演で、「俳句はあくまで自分のことばで自分の句を」と話しておられた。そして、ゆくゆくは日本の素晴らしい俳句を世界遺産にのの願いがあるといふ。

また、「月日は百代（はくたい）の過客（かかく）にして、行きかふ年もまた旅人なり」の序文で始まる芭蕉の『おくのほそ道』がある。それを読むたびに、歯切れの良い、凜（りん）として洗練された文章・句に引き込まれてしまう。その良さはどうも「推敲」にあるようだ。

その例として、大久保氏は芭蕉が山寺立石寺で初め詠んだ「山寺や岩にしみつく蟬の声」（元禄2年）の句をあげ、その後推敲して「さびしさや岩にしみつく蟬の声」とした。しかし、それで終えることなくさらに推敲を重ね、最終的に名吟「閑さや岩にしみ入る蟬の声」（元禄7年）が出来上がったという。それほど「ことば」の表現は、使い方によって絶妙となり、特に、俳句は詩の趣きや読んで心地よい語調を大切にしていると言える。

そして、1週間ほど前、林 望氏（作家・国文学者）による『源氏物語を深く味わうーその読解と朗読』の講演を聞く機会があった。『源氏物語』（作者・紫式部）は1000年前の物語である。林氏は、『源氏物語』を平安貴族の様子を目的の当たりにするように現代語訳した。古典文学の読解はなかなか難しいが、しかし、氏の現代語訳の朗読を聞くと、自然と目の前に情景が広がってくるような、また、うっとりとするような感触が伝わってくるから不思議である。いづれにせよ、『おくのほそ道』や『源氏物語』に限らず、表現された「ことば」を音読・深読みして味わうと、作者の伝えたい「趣き」を感じ取れるかもしれない。

日本は、「読書週間」が国民的行事として定着する中、世界の中で有数な本を読む国と言われるようになった。「読書の秋」であり、しかも今、「秋の読書週間」中でもある。静かに本の世界にひたってみてみたい週間である。



今月の一句



〈西乃越句会〉

尾鱈持ち骨を刺して秋刀魚食う

川 西 小股 正美知

傾ける秋日あまねく浜街道

てまり団地 本間 加津

〈越後出雲崎 渚会〉

小春日の一日余さず使い切り

井 鼻 細木 郵子

漁村には漁村のにはひ鰯雲

大 門 磯部 游子

〈出雲崎小学校児童の俳句〉

げんかんのてすりにとまる赤とんぼ

5年生 枝元 世名

道ばたにたがいによりそう秋桜

5年生 内藤 俊太

柿の木に小さな手のひらとどくかな

5年生 磯野 心愛

赤黄色とりどりの秋の山

6年生 藤屋 珠李

秋の空夕焼け雲がモクモクと

6年生 山田 美空

もみぢちりあつという間に赤い道

6年生 高坂 理奈



## 秋のスポーツチャレンジ教室スタート！ ～小学生卓球教室～



10月1日(木)から、小学生を対象にした「卓球教室」が始まりました。今年で2年目となる教室には前回は上回る児童が集まり、盛況なスタートを切りました。出雲崎卓球クラブを講師に基礎から試合までしっかり取り組みます。部活動何をしようか悩んでいる子どもぜひ卓球を体験に体育館へ来てみてください。

## エコパークまでウォーキング



10月20日(火)、さわやかスポーツ教室恒例の秋ウォーキングを行いました。今年は体育館から稲川トンネルを通過してエコパークいずもさきまで向かう約6キロのコース。紅葉には少し早いものの自然いっぱいのさわやかなウォーキングを楽しみました。

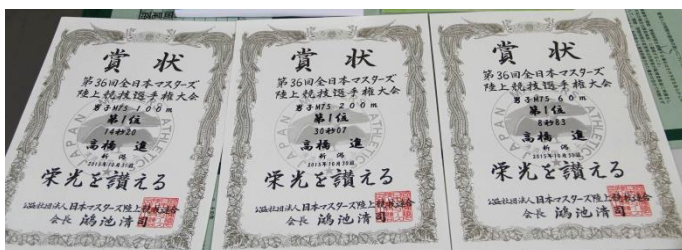
## 秋のゲートボール大会開催



10月8日(木)、「第34回町内ゲートボール大会」を開催しました。激戦を制し、小木ノ城Dチームが優勝しました。おめでとうございます。

**大会結果**  
 優勝：小木ノ城D  
 準優勝：小木ノ城A  
 第三位：フェニックス  
 西越A

## 全日本マスターズ3冠達成！



10/30～11/1 に岐阜県で開催された全日本マスターズ陸上に高橋 進さん(柿木)が出場し、75～79歳の部60m, 100m, 200mすべてで優勝、3冠を達成しました。現在、出雲崎ツズでコーディネーショントレーニングの講師をしている高橋さんは「日本新まであと少し」と今後の抱負を語ってくれました。

## お知らせ



### 第26回ソフトバレーボール大会のご案内

下記のとおり町民ソフトバレーボール大会を開催します。皆様の参加をお待ちしています。

日時 11月15日(日) 午前9時から開会式  
 会場 町民体育館  
 条件 1チーム4名(登録は10名まで)  
 ※下記条件をどちらか満たすこと  
 ① 50歳以上の男性1人  
 ② 女性または小学生1人  
 申込 11月12日(木)までに町民体育館へ

## 11月の「トレーニング教室」日程

11/4, 11, 18, 25日(水) 19:30～21:00

